

社会福祉法人 眉丈会

特別養護老人ホーム 戸室和楽ホーム 環境行動計画

取 組 方 針

私たち眉丈会は、『居甲斐(IGAI)』を基本理念として、ご利用者に「ここに居る甲斐がある」と感じていただくこと。ご利用者が慣れ親しんできた生活スタイルをできる限り継続しながら、日々の暮らしの中でご自身の役割を再認識し、生きる喜びを感じていただくための支援に努めています。

I G A I

利用者本位
Identity

社会への貢献
Give

前 進
Ahead

情 熱
Intent

当施設は金沢市郊外、戸室山の麓で自然豊かな山間部にあります。

私たちはこれからも、この自然豊かなところで福祉の在り方を考え続け、地域にとけこんだ施設づくりを目指して行くためにも、環境保全が重要課題と考え、それに取り組むことが社会的責務と考えます。

- ① 省エネルギー化を図り、排出二酸化炭素の削減
- ② 廃棄物の排出量削減
- ③ 紙の使用量削減及びリサイクルに努める
- ④ 職員の環境意識の向上を図る

全職員がこの方針を理解し、取組目標及び具体的な取組内容を周知し職員一丸となって、環境保全活動に取り組みます。

平成23年6月20日

社会福祉法人 眉丈会

理事長 加中 英喜

特別養護老人ホーム 戸室和楽ホーム

施設長 尾崎 範嗣

◆ 環境保全に向けた低減目標及び具体的な取組

当施設では、環境負荷低減目標を掲げ、目標を達成するための具体的な方策を策定して取り組めます。

目標－１	二酸化炭素の排出量を、２２年度(952,563kg-CO ₂)を基準として２５年度までに３%(28,577 kg-CO ₂)の削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度（２８℃）、暖房温度（２０℃）を厳守する ② 各所に温度計を設置し、エアコンの設定温度を適正に調節する ③ 不要な電源OFFを徹底する（特に利用者のいない部屋の照明・空調） ④ 職員のみのエレベーター使用は自粛する ⑤ パソコンは必要時以外は電源を切る（特に夜間帯） ⑥ 空調機器をGHP方式からEHP方式への転換 ⑦ 白熱電球をLED電球に替えていく ⑧ 車両に関しては更新時に低燃費・低公害車の採用を検討

目標－２	一般廃棄物の排出量を、２２年度（６６.１２ｔ）を基準として２５年度までに３％（１.９８ｔ）の削減をする
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物の分別を徹底し、リサイクルに努める ② 紙オムツ類の使用量削減を図る ③ ファイル、フォルダーなどの製品は、繰り返し使用する。 ④ 物を大切に出来る限り長時間使用する ⑤ 詰替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に購入する

目標－３	コピー用紙の使用量を、２２年度（１３１,０００枚）を基準として２５年度までに３％（３,９３０枚）の削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 資料等は両面印刷、両面コピーを徹底する ② コピー機の使用時には、必ず設定状況を確認しミスコピーを無くする ③ 会議資料等の削減に努める（資料内容のコンパクト化、必要最低部数に） ④ コピー用紙以外に、余暇支援等で使用する各種紙や資材等も再生紙や間伐材利用等のエコ商品を優先して購入する

◆ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、施設管理課長（環境管理責任者）を委員長とする「エコ対策委員会」を設け、全職員が「具体的な取組」を実行します